

2013年9月

ベトナム海事大学 (ベトナム・ハイフォン市) に浄水装置を設置

水処理メーカーの日本原料株式会社(本社:川崎市 代表取締役社長:齋藤安弘)は、政府開発援助ノンプロジェクト無償アイテムとして、8月にベトナム社会主義共和国のベトナム海事大学(ハイフォン市)にろ過材交換不要の移動式浄水装置(Mobile SAITO TANK)3基を設置、試運転を行いました。

ベトナム海事大学 (Vietnam Maritime University) は、ベトナム北部のハイフォン市に位置し、多くの海上技術者を輩出しベトナムにおける船員教育の中心的役割を果たしています。今回同大学内に設置した浄水装置は、移動式浄水装置(Mobile SIPHON TANK MST-700)で、処理能力は1時間あたり3.8m³浄水能力です。設備は浄水装置に加えて原水槽(5m³容量)、処理水槽(8m³容量)、送水ポンプ、逆洗ポンプで構成されています。全3ユニットを大学構内に設置されました。

施工は8月19日から行われ、同月28・29日には設備担当者向けのトレーニングを講義と実地で行いました。

ノンプロジェクト無償は、貧困削減などの経済社会改革を実施している開発途上国を支援するため、国外からの資機材などの購入のための資金を供与する無償資金協力です。今回のプロジェクトはベトナム向けのもので、大学内に供給されている公共水道を原水として利用し、飲料適応基準まで処理して学内に供給するものです。



日本原料は昭和14年の創業以来たゆまぬ努力を続け、ろ過材トップメーカーとして当社のろ過材を日本の浄水場の8割でご利用いただいております。また、本リリースの「Mobile SAITO TANK」を始め各種浄水装置も開発し続けています。これからも「ろ過」「ろ過材」「水処理」の知見をもとに、日本原料ができること、日本原料だからできることを模索してまいります。

【モバイルシフォンタンク：Mobile SIPHON TANK、海外向け製品名 Mobile SAITO TANK】

浄水場ろ過池で行われるろ過材のリサイクル工事（更生工事）のろ過材洗浄のために開発した国際特許“シフォン洗浄”技術を組み込んだ移動式水処理用ろ過装置です。逆流洗浄工程時に内蔵されたシフォンスクリーが汚れたろ過材を揉み洗いし、逆流洗浄だけでは洗浄しきれなかった汚れを物理的な揉み洗いを施して常に清浄な状態に維持します。ろ過材はきれいな状態に保たれ水質が維持されるほか、従来のろ過装置で必要であったろ過材の交換を不要にしました。さらに逆流洗浄の時間も短縮でき、電気容量が大きな逆洗ポンプの使用電気を削減でき、CO₂排出量の低減に貢献します。



装置を開梱し設置



図面をもとに打合せ



大学担当者へのレクチャー



現場での研修

日本原料株式会社

本社:川崎市川崎区東田町1-2 NKF 川崎ビル

TEL 044-222-5555

FAX 044-222-5556

<http://www.genryo.co.jp>

info@genryo.co.jp

担当者:企画開発推進本部 田中、中川